

国際共創学部、始動。

ありえない
を走らんよう。

これまでの常識を超えて、
これからの常識を創り出す。

ありえなかったつながりが、価値を生み出す時代が来た。

ありえなかったアイデアが、社会を変える時代が来た。

人と人、地域と地域、文化と文化。

あらゆるものが常識や国境を越えてつながり、
時代を創造していく。国際共創学部。

ここは、ありえないを超えるスタート地点になる。



2024年4月開設

国際共創学部

国際共創学科 入学定員:120名



つながる力。

大阪経済大学
OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS

国際共創とは？

グローバル化・ICT化・地球規模の環境変化などによって、現代の地域が抱える社会や経済の課題は複雑化している

国内外の地域が抱える多種多様な社会・経済の変化・課題



グローバル化



IoT・AI



SDGs



地域活性



多文化共生

複雑化する社会・経済課題の解決のためには、他者を理解し、互いに力を合わせながら新しい価値を生み出すことが必要

グローバルな視点とローカルな視点を合わせ持ち、多面的な見方・考え方によって、社会・経済課題を解決する人材が、今、必要とされている



社会学と経済学を基盤として
グローバルな視点から
社会や経済を見据える

国際

共創

多文化への理解にもとづき
人々と未来を共に創り出す

修得できる能力



洞察力

グローバルな視点とローカルな視点を
合わせ持って、本質的な課題を発見する



共感力

多様な人々の考えを理解し、
信頼関係の構築に取り組む



構想力

自由な発想のもとに、
知を結びつけ立案する



実践力

課題解決に向けて、
主体的に行動する

学修の基盤

「社会・文化」「経済・経営」
分野の知識

国際人として必要不可欠な
「語学力」

新しい情報や知見を
収集・調査・分析する
「思考力」と「情報活用力」

国内外の地域が抱える社会・経済課題に対応するために、

多様な価値観や文化への関心を持ち、地域性を考慮したグローバルな視点とローカルな視点を合わせ持つ

「多面的な見方・考え方」によって、新たな解決に貢献できるグローバル人材へ

国際共創とは 例えば

ヒト×モノ×文化で、超えよう。

日本で生まれた新素材×伝統・文化の融合が、人々のライフスタイルや生きやすさを変える。

日本で主に夏場の肌着として活用されている新素材。ムスリムの女性にとって宗教的に重要なヒジャブが、速乾・透湿・低摩擦を特徴とした新素材との出会いで快適な生活を提供。新素材が文化と交わりながら、様々な国で社会課題解決に貢献をしている。



ヒト×モノ×社会で、超えよう。

開発途上という状況をポジティブに転換し、社会が必要とするインフラを最先端アップデート

開発途上国では、様々な社会・経済インフラがまだ整っておらず、特に銀行は都市部以外にはほとんど存在しない。通信技術がアフリカの途上国全体に広まり、スマートフォンアプリによる口座開設、送金・受取が可能となり、今では世界の電子決済の7割がアフリカで行われている。



休暇と仕事を両立する新しいワークスタイルで地方と都市の垣根を超え、地域の課題を解決する。



テレワーク等の活用で、休暇と仕事を両立するワークセッション。地方に一定期間滞在し仕事を行う人々の増加は、観光客とは異なる効果を及ぼし、定住者へと移行する人々も現れている。関係人口を増加させ、地方と都市の垣根を超えるワークセッションを推進するための施策が、現在多くの自治体で実施されている。

ヒト×モノ×経済で、超えよう。

経済的リターンと社会的インパクト創出の両立を目指す新しい社会課題の解決システム



民間事業者が出資した運営団体が社会課題解決のために事業を実施し、成果型報酬を自治体から受け取る SIB(ソーシャル・インパクト・ボンド)。自治体との協力の下、民間のノウハウを活かしビジネスとしても成立させながら、地域コミュニティの支援、禁煙支援、若者の就業支援、生活困窮対策などに特に公共性の高い領域で、社会課題の革新的な解決を促す。

ヒト×モノ×経営で、超えよう。

国際共創学部の特徴。

グローバルな視点から「社会・文化」と「経済・経営」の知識を身に付け、
国内外を問わず多様な人々と協力・協働して、新しい未来を創り出していくために必要な能力を実践的に学ぶ

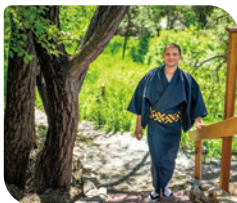
地域・社会課題解決のための理論と技能の修得

「グローバル文化領域」「国際社会領域」「政策デザイン領域」「社会創造領域」の4つの領域から学ぶことで、
グローバル化した地域・社会の課題解決のための知識・能力を修得します。

グローバル文化領域

様々な地域の特性や文化に関する
知識とグローバルな視点を深める領域

多文化共生論 | 共生社会論 | 平和と紛争 | アジア
文化論 | 文化政策 | 生活文化論 | 現代文化論 |
地域研究A | 地域研究B | 地域研究C



政策デザイン領域

人々が暮らす社会や地域を
デザインするための知識と
実現に向けた考え方を深める領域

公共政策 | 環境政策 | まちづくり論 | 都市デザイン
論 | 環境デザイン論 | アートマネジメント | 地方
創生論 | 中小企業政策 | ローカルガバナンス論 |
パブリックマネジメント



国際社会領域

国際社会の仕組みに関する知識と
課題解決に向けた方策を学ぶ領域

国際関係論 | 福祉社会論 | メディアと社会 | 国際
社会と外交 | 国際開発論 | 国際保健論 | 国際
社会と教育 | 国際協力論 | 環境と社会



社会創造領域

未来社会に向けた
事業を創造するための
知識と戦略的な手法を学ぶ領域

ソーシャルキャピタル論 | 社会ネットワーク論 |
ボランティア論 | 地域イノベーション | 地域
産業論 | 情報産業論 | 観光産業論 | ツーリズム
論 | 事業創造論 | 社会的企業論



授業紹介



国際共創入門

国際共創を学ぶ上での4つの領域
(グローバル文化、国際社会、政策
デザイン、社会創造)について基礎
的な知識を学ぶ。



多文化コミュニケーション

多様な価値観や背景を持つ人々と、
コミュニケーションをとり、共生
する社会について、理解を深める。



国際関係論

環境、エネルギー、格差と貧困など、
現代の国際関係における様々な側
面を、体系的、複眼的に理解する。



公共政策

公共政策の概念や理論を理解し、
社会問題・政策問題の解決方法を
学んでいく。



社会的企業論

社会問題の解決をビジネスとして
取り組む社会的企業の意義や役割に
ついて理解を深めるとともに、起業
方法などについても探求していく。



Regional Environment and Sustainability

By knowing environmental
initiatives in other countries,
students will understand
environmental design and
sustainability governance
inside / outside of Japan.

国際的で幅広い
「社会・文化」「経済・経営」に
関する知識の修得

語学教育と国際的な社会・文化に関する教育に、本学が培ってきた強みである「経済・経営」に関する
教育(実学)を融合し、グローバルな視点で実際の社会に貢献できる知識・能力を修得します。



語学力を養う英語教育の実施

英語4技能(読む・書く・聞く・話す)を磨き、
英語で物事を捉える力と共創を生み出すコミュニケーション力を養います。

充実した英語教育



- ・Reading and Writing A/B
- ・Listening and Speaking A/B
- ・English Communication A/B
- ・Advanced English (Discussion) / (Presentation) / (Debate) など

日本や世界の
文化・実状について学ぶ



- ・Japanese Culture
- ・Regional Environment and Sustainability
- ・Urban Geography など

国際的な視野をもって
「共創」を生み出す
コミュニケーション能力を習得



取得可能な資格

中学校教諭一種免許状(英語)、
高等学校教諭一種免許状(英語)
(教職課程認定申請中)など

※ただし、文部科学省における審査の結果、
予定している教職課程の開設時期等が
変更となる可能性があります。



LICENSE



PROGRAM

国内・海外実践プログラム

学びを深める少人数演習と国内・海外実践プログラムの実施

少人数ゼミで、学習面、生活面、就職活動を支援します。また、アメリカ、タイ、ベトナム、島根、高知など、
国内外で企業等と交流しながら、グローバル・ローカルを融合した視点を実践的に学びます。

地域の人々・団体・NPO法人等と交流しながら、実践的に学びを深めています。

地域探求型実践プログラム

国内：ローカル・リサーチ



島根県



高知県

海外：グローバル・リサーチ



タイ



アメリカ(ポートランド他)

国際的な地域課題の解決のための
調査・方法について、
より実践的に学んでいます。

プロジェクト型 実践プログラム

国際共創プログラム



ベトナム(ハノイ・ホーチミン)

1年次年度末(春季休業中)に、3週間ハワイ大学マノア校へ語学留学し、
実践的な英語力を身に付けます。

海外短期留学を
カリキュラム内に配置

1年次に必修科目として



ハワイ大学マノア校へ短期留学



ホームステイ・現地の人々との交流



卒業後の進路

「語学力」「思考力」「情報活用力」を基盤として、本質的な課題を発見し（洞察力）、多様な人々の考えを理解し、信頼関係の構築に取り組みながら（共感力）、解決に向けて立案し（構想力）、主体的に行動できる（実践力）グローバル人材へ

様々な地域の特性や文化に関する知識と グローバルな視点を持ち国際社会で活躍する人材

- 例：● 企業のグローバル部門・企画部門・営業部門
● 貿易業や総合商社
● 旅行代理業の企業等



国際社会の仕組みに関する知識と課題解決に向けた 方策を学び国際社会に貢献する人材

- 例：● NPO・NGO ● 外資系企業
● 企業のグローバル部門・企画部門・営業部門
● 国家公務員等



人々が暮らす社会や地域をデザインするための知識と 実現に向けた考え方をもち地域社会に貢献する人材

- 例：● NPO・NGO
● 国家公務員・地方公務員等



未来社会に向けた事業を創造するための知識と 戦略的な手法を学び社会に貢献する人材

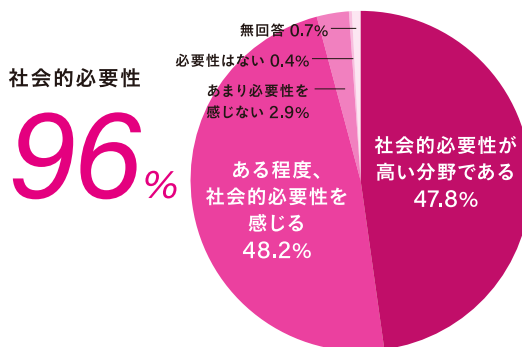
- 例：● 総合商社
● 外資系企業
● 総合広告代理店等



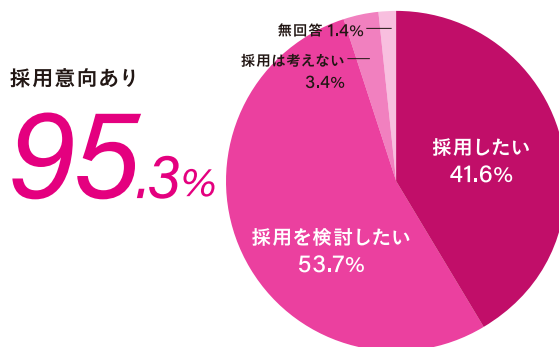
アンケート

国際共創学部設置認可申請にあたり、様々な業界の企業様にアンケートを実施いたしました。

国際共創学部国際共創学科の 社会的必要性について



国際共創学部国際共創学科の 卒業生の採用意向について



入試制度

公募推薦
一般選抜・前期<A方式・B方式>
一般選抜・後期<D方式>
商工系資格評価型選抜
学部AO入試(国際共創学部)
国際留学生入試

学費

入学金	授業料	施設設備費等	諸会費	初年度 合計学納金
190,000	710,000	300,000	13,000	1,213,000

4年間学納金 **4,883,000円**

※大阪経済大学国際共創学部では原則全員1年次に、ハワイ大学マノア校で約3週間の短期留学を実施する予定です。その費用が学納金に含まれています。

※大阪経済大学の学納金は予定であり、変更する場合があります。



留学制度

本学の留学制度は「派遣留学」と「認定留学」の2種類があります。
どちらの留学制度も休学することなく海外留学し、4年間で大学の卒業を目指します。



学生の声 ①

多国籍文化のカナダで得た見識と
友情が大きな財産に。

● 情報社会学部／大阪府立吹田東高校 卒業

英語が全く話せない私が留学を決意したのは、入学してすぐの英語の授業がきっかけでした。あんなに受験勉強したのに、外国人の先生の言葉が一言もわからない！それがショックで、どうしても英語でコミュニケーションを取れるようになりたいと思い、認定留学制度で半年間カナダの語学学校へ。留学中は日本語を一切使わず、通じなくても英語を使い続けました。やり通せたのは「母国語じゃないから下手でも仕方ない」というポジティブさと、「英語が上手いかどうかじゃなく、あなたが好きだから一緒にいたい」と言ってくれる友達がいいたから。多様な人種が暮らすカナダでさまざまな国籍の人と接し、国にとらわれないという見識を得られたことが留学の大きな成果でした。この経験を生かして、将来は国内外問わず、自分が望む場所で活躍できる人になりたいです。



▶ 留学先
カナダ／
ヨーク大学附属英語学校

念願の現地留学。人との交流で、
コミュニケーション力が鍛えられています。

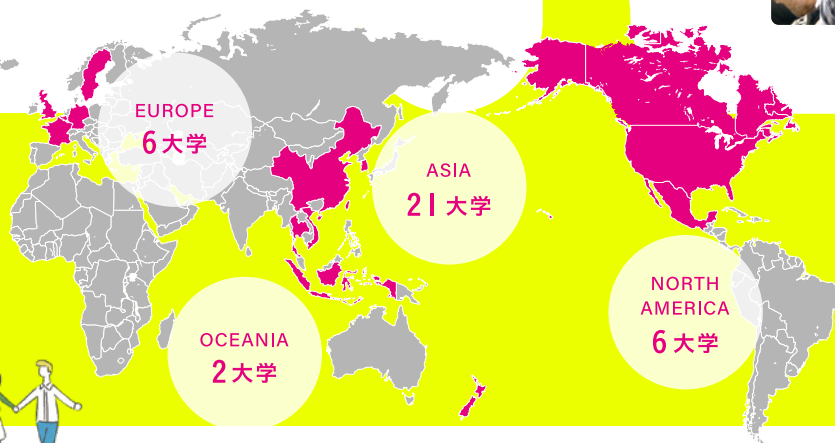
● 経営学部／沖縄県立小禄高校 卒業

語学を学びたいという想いから、1年生のときに勇気を出して叩いた国際交流課の扉。そこで職員の方が提案してくださった留学先が、台湾の実践大学でした。欧米へ留学するよりも費用が安く、英語と中国語の2か国語が学べる点に魅力を感じました。不安に感じていた留学費は、交換国際留学生奨学金を活用することで現実的な価格になりましたね。これから留学だというタイミングでコロナ禍となり、オンライン留学にするか留学を延期するか二択を迫られて悩みましたが、結果として現地留学を選んで大正解。台湾の風土や文化に直接触れながら現地の人々と交流することは、日本ではできない経験の連続です。日々、欧米やアジアなどさまざまな国の留学生や台湾の人との積極的な会話によって、自分のコミュニケーション力を磨いています。

※2022年12月取材。取材時は留学3か月目。



▶ 留学先
台湾／実践大学



派遣留学

学生交換協定を結んでいる海外協定校へ留学するプログラム。留学先で修得した単位は、審査を経て、本学の単位として認定を受けることが可能です。留学先の授業料は免除されます（本学へ所定の学費を納入）。審査はありますが、2種類の奨学金があります。

派遣留学を
サポートする奨学金

- 交換国際留学生奨学金（月額5万円）
- ジャンプ・アップ海外留学奨学金（応募資格条件あり/月額5・10万円）

認定留学

学生交換協定に基づかない留学ですが、事前に本学の認定を受けることで、在学扱いのまま海外留学ができる制度。留学先で修得した単位は、審査を経て、本学の単位として認定を受けることが可能です。留学の学費は自己負担ですが、本学の奨学金制度も利用可能です。

認定留学を
サポートする奨学金

- 認定留学生奨学金（留学期間の本学授業料相当額）
- ジャンプ・アップ海外留学奨学金（応募資格条件あり/月額5・10・15万円）

就職支援

「企業の人事担当者から見た大学イメージ調査」で上位にランクイン

日本経済新聞社と就職・転職支援の日経HRが実施した「企業の人事担当者から見た大学イメージ調査」で本学は多数の項目で上位にランクインしました。出典：日経キャリアマガジン特別編集「価値ある大学就職力ランキング2023-2024」



就職支援に熱心

近畿
私大
2位

地域活性化に貢献

近畿
全体
1位

総合ランキング

近畿
私大
4位

行動力

近畿
私大
3位

独創性

近畿
私大
5位

学びの環境



大阪経済大学は大阪、京都、神戸、さらに奈良方面からの

通学に便利な
都市型キャンパスです。

便利な
2ウェイ・アクセス

阪急「上新庄」駅と
大阪メトロ「瑞光四丁目」駅から
徒歩圏

NAMBA 30min

OSAKA UMEDA 25min

